



CS1822/CS1824

2/4ポート USB 3.0 4K HDMI KVMP™スイッチ

RS-232Cコマンド

ユーザーマニュアル



本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルはATEN International Co., Ltdが作成している英語版ユーザーマニュアルを、日本国内のお客様が製品をご使用になる上での便宜を図るため、ATENジャパン株式会社にて機械翻訳ベースで作成したドキュメントです。用語・表現等は公開前に人為的な修正を加えておりますが、若干の表記ゆれなどが残っている可能性がございますので、ご理解願います。

製品の取扱説明書としての整合性は英語版ユーザーマニュアルに準ずるものですが、万が一内容に不備・誤り等ございましたら、誠にお手数ですが、ATENジャパン株式会社までお問い合わせさせていただきますよう、お願い申し上げます。

EMCに関する情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠したデジタル装置Class Aの制限事項を満たして設計され、検査されています。

この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意: 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

注意: 本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。



目次

EMCに関する情報	i
RS-232Cによる操作	1
概要	1
セットアップ	1
ハードウェアの接続	1
RS-232Cピンアサイン	2
RS-232Cコマンド	4
検証	4
オープン/クローズ	5
ボーレートの設定	8
オーディオミキサー	16

RS-232Cによる操作

概要

CS1822/CS1824に内蔵されている双方向RS-232Cシリアルインターフェースにより、ハイエンドコントローラーまたはPCを介したシステム制御が可能になります。CS1822/CS1824システムでのRS-232Cシリアル制御は、Windowsを実行しているシステムのハイパーターミナルセッションを介して管理されます。この機能を使用してCS1822/CS1824にコマンドを送信するには、まずハイパーターミナルアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。このマニュアルに記載されている各コマンドの詳細な手順および情報については、CS1822/CS1824のユーザーマニュアルを参照してください。

セットアップ

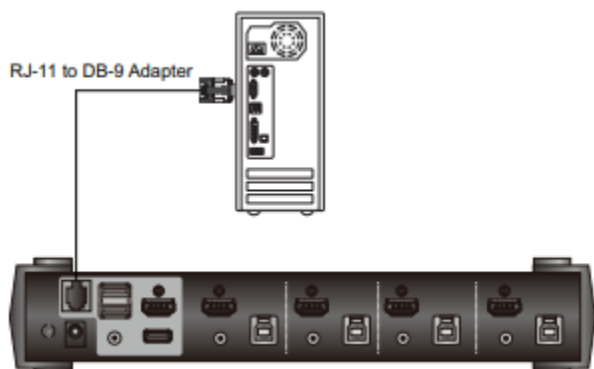
KVMスイッチが組み込まれたシステムに属していないコンピューターにハイパーターミナルアプリケーションをインストールしてください。このアプリケーションは、RS-232C接続を介してKVMスイッチを制御するために使用されます。ハイパーターミナルアプリケーションはインターネットからダウンロードでき、大半のオペレーティングシステムに組み込まれています。

ハードウェアの接続

以下に示すように、RJ-11→DB-9シリアルアダプター（LIN5-04A2-J11G）を使用して、コンピューターのシリアルポートをCS1822/CS1824のシリアルポートに接続してください：

注意：

下図で使用されている機種はCS1824です。CS1822へのRJ-11→DB-9アダプターの接続方法は、KVMポートの数が少ないという点を除いて、CS1824と同じです。

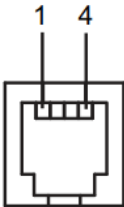


RS-232Cピンアサイン

CS1822/CS1824のリアパネルにあるRJ-11シリアルポートのピンアサインを以下の表に示します：

注意：

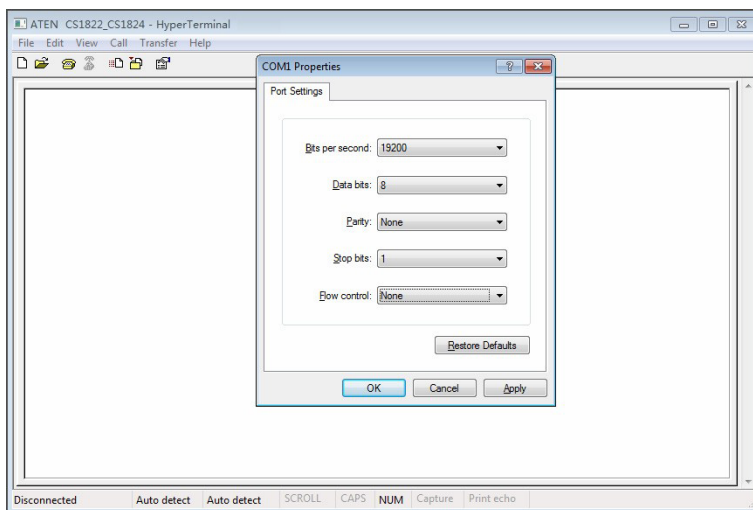
このRJ-11メスコネクターは4P4Cです。

ピン	アサイン	
1	TXD: データ送信	 RJ-11メス
2	RXD: データ受信	
3	N/A	
4	GND: 信号用接地	

コンソールからのログイン - ハイパーターミナル

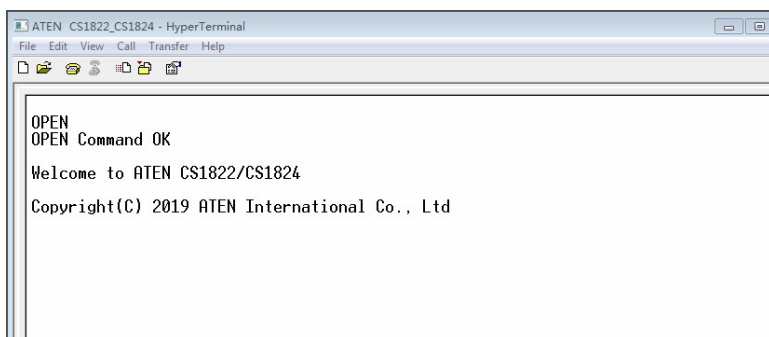
コンピューターからCS1822/CS1824への物理的な接続が完了すると、以下の手順でハイパーターミナルセッションを確立することができます。

1. 「ハイパーターミナル」アプリケーションを開き、COM1ポートのポート設定を定義したら、「OK」をクリックしてください。



ビット/秒:19200、データビット:8、パリティ:なし、ストップビット:1、フローコントロール:なし

2. ポート設定を行ったら、**open + [Enter]**コマンドを入力して、KVMスイッチのシリアル制御を有効にする必要があります。



RS-232Cコマンド

ハイパーターミナル経由でログインした後(「コンソールログイン - ハイパーターミナル」を参照)、以下の手順を使用してRS-232Cコマンドを送信し、コンピューターからKVMスイッチを制御してください。

open + [Enter] コマンドでRS-232Cコントロールを有効にすると、CS1822/CS1824のフロントパネルのプッシュボタン、マウスの切替、ホットキーは、シリアル接続が終了するまで無効になります。

このガイドに記載されているコントロールの詳細については、CS1822/CS1824のユーザーマニュアルを参照してください。

検証

コマンドを入力すると、コマンドラインの最後に次のような確認メッセージが表示されます:

応答メッセージ	説明
Command OK	コマンドまたはパラメーターが正しいです。
Command incorrect	コマンドまたはパラメーターが不正です。

以降のセクションのすべてのコマンドは:

- 各コマンド文字列はスペースで区切ります。
- [Enter]コマンドは、ASCIIコード:0x0D0Aに置き換えることができます。

オープン/クローズ

openコマンドとcloseコマンドを使用すると、RS-232Cコマンドを送信するコンピュータとCS1822/CS1824間のリンクを、それぞれ開始したり終了したりすることができます。リンクが開いているとき、CS1822/CS1824はRS-232Cコマンドのみを受け付け、リンクが閉じるまでフロントパネルのプッシュボタン、マウスによる切替、ホットキーに応答しなくなります。リンクはopenコマンドで開始し、closeコマンドで終了します。あるいは、コマンドが送信されない場合は2分後に終了します。デフォルト値はcloseです。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
open	RS-232Cリンクコマンドをオープンします。
close	RS-232Cリンクコマンドをクローズします。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

RS-232Cリンクのオープン/クローズ コマンド

RS-232Cリンクコマンドのオープン/クローズ コマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + [Enter]

例えば、コンピュータとCS1822/CS1824の間でRS-232Cリンクを開くには、次のように入力します:

open [Enter]

2. コマンド + [Enter]

例えば、コンピューターとCS1822/CS1824の間におけるRS-232Cリンクを閉じるには、次のように入力します:

close [Enter]

ポートの切替

ポートの切替コマンドを使用すると、ポートを切り替えることができます。デフォルトのポートは01です。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
sw	ポート切替コマンド
制御	説明
ixx	入力ポート xx = 01～02 (CS1822) / 01～04 (CS1824)
Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

ポートの切替コマンド

ポート切替コマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、ポート2に切り替えるには、次のように入力します:

sw i02 [Enter]

注意:

制御コマンドは省略することができます。省略時にはデフォルト値が使用されます。

ボーレートの設定

ボーレートの設定コマンドを使用すると、シリアルポート接続のボーレート設定を行うことができます。デフォルトのボーレートは19200です。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
baud	ボーレートコマンド

制御	説明
19200	ボーレートを19200に設定します(デフォルト)。
38400	ボーレートを38400に設定します。
9600	ボーレートを9600に設定します。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

ボーレート設定コマンド

ボーレート設定コマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、ボーレートを19200に設定するには、次のように入力します:

baud 19200 [Enter]

2. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、ボーレートを38400に設定するには、次のように入力します:

baud 38400 [Enter]

キーボード言語のレイアウト

キーボード言語レイアウトコマンドを使用すると、キーボードの言語レイアウトを変更できます。デフォルトの言語は英語です。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
layout	キーボード言語のレイアウトコマンド

制御	説明
en	キーボードの言語レイアウトを英語に変更します(デフォルト)
fr	キーボードの言語レイアウトをフランス語に変更します。
jp	キーボードの言語レイアウトを日本語に変更します。
ge	キーボードの言語レイアウトをドイツ語に変更します。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

キーボード言語のレイアウトコマンド

キーボード言語レイアウトコマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、キーボード言語レイアウトを日本語に変更するには、次のように入力します:

layout jp [Enter]

2. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、キーボードの言語レイアウトをフランス語に変更するには、次のように入力します:

layout fr [Enter]

ホットキーの設定

ホットキーの設定コマンドを使用すると、HSM(ホットキー設定モード)の起動に使用するホットキーを変更できます。デフォルトのホットキーは[Num Lock]+[-]です。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
hotkey	ホットキー設定コマンド

制御	説明
num	HSM呼び出しキーを次のように変更します: [Num Lock] + [-](デフォルト)
f12	HSM呼び出しキーを次のように変更します: [Ctrl] + [F12]

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

ホットキー設定コマンド

ホットキー設定コマンドで利用できる構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、HSM起動キーを[Num Lock] + [-]に変更するには、次のように入力します:

hotkey num [Enter]

2. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、HSM起動キーを[Ctrl] + [F12]に変更するには、次のように入力します:

hotkey f12 [Enter]

ホットキーによる切替

ホットキーによる切替コマンドを使用すると、切替に使用するホットキーを変更できます。デフォルトのホットキーは[Scroll][Scroll]です。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
switch	ホットキー切替コマンド

制御	説明
scroll	ホットキー切替キーを次に変更します: [Scroll] [Scroll](デフォルト)
ctrl	ホットキー切替キーを次に変更します: [Ctrl] [Ctrl]

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

ホットキーによる切替コマンド

ホットキーによる切替コマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

- 1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、ホットキーの切替モードを[Scroll][Scroll]に変更するには、次のように入力します:

switch scroll [Enter]

- 2. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、ホットキー切替モードを[Ctrl][Ctrl]に変更するには、次のように入力します:

switch ctrl [Enter]

USBのリセット

USBのリセットコマンドを使用すると、USB接続をリセットできます。デフォルトのUSBリセット設定はOFFです。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
usbreset	USBリセットコマンド

制御	説明
on	USBリセットの接続を許可します。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

USBリセットコマンド

USBリセットコマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、USB接続をリセットするには、次のように入力します:

usbreset on [Enter]

デフォルト設定の復元

デフォルト設定の復元コマンドを使用すると、すべての設定をデフォルトにリセットできます。デフォルト設定はOFFです。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
reset	デフォルト設定の復元コマンド

制御	説明
on	デフォルト値の復元を有効にします。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

デフォルト値の復元コマンド

デフォルト値の復元コマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、CS1822/CS1824における設定を、すべてデフォルト値に戻すには、次のように入力します:

reset on [Enter]

ファームウェアアップグレード

ファームウェアアップグレードコマンドを使用すると、ファームウェアアップグレードモードを有効にできます。デフォルト設定はOFFです。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
upgrade	ファームウェアアップグレードコマンド

制御	説明
on	ファームウェアアップグレードモードを有効にします。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

ファームウェアアップグレードコマンド

ファームウェアアップグレードコマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、ファームウェアアップグレードモードを有効にするには、次のように入力します:

upgrade on [Enter]

KVMの状態

KVMの状態コマンドを使用すると、KVMスイッチの現在の設定状態に関する情報を読み取り専用で表示できます。デフォルト設定はOFFです。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
status	KVMの状態コマンド

制御	説明
on	KVMの状態表示を有効にします。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

KVMの状態コマンド

KVMの状態コマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、CS1822/CS1824の設定状況を表示するには、次のように入力します:

status on [Enter]

そうすると、次のようなメッセージが表示されます。

hotkey: [numlock]+[-] / [scrolllock],[scrolllock]
os setting: pc
keyboard emulation: enabled/disabled
keyboard layout: English
mouse emulation: enabled/disabled

オーディオミキサー

オーディオミキサーコマンドでは、CS1822/CS1824のオーディオミキサー機能を有効/無効にすることができます。デフォルト設定はOFFです。

次の構文を使用してパラメーターを設定し、コマンドを作成してください。

構文:

コマンド + 制御 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
audio	オーディオミキサーコマンド

制御	説明
off	オーディオミキサーを無効にします(デフォルト)。
ron xx yy	オーディオミキサー用に2つのオーディオポートを選択します。 xx, yy = 01、02(CS1822) / 01、02、03、04(CS1824)
pon xx	オーディオミキサー用の固定オーディオポートを選択します。 xx = 01、02(CS1822) / 01、02、03、04(CS1824)
on	オーディオミキサーを有効にします。

Enter	説明
Enter	コマンドの入力と送信を行います。

注意:

xxのオーディオポート番号はyyと同一にすることはできません。

オーディオミキサーコマンド

オーディオミキサーコマンドで使用可能な構文は次のとおりです:

1. コマンド + 制御 + [Enter]

例えば、CS1822/CS1824のオーディオミキサーでオーディオポート01とオーディオポート02を有効にするには、次のように入力します:

audio ron 01 02 on [Enter]